

沐浴 1.準備するもの



この資料では浴室ではなく室内でやることを想定しています。ご家庭の状況によって工夫してみてください。

《準備物品》

液体石けん・固形石けん・泡ソープ(泡で優しく洗えれば良い。好みで選ぶ)、保湿剤、湯温計(あれば便利)、爪切り、体温計(大人の体温計でも可)、めんぼう、お風呂、おけ2個、タオル3枚(上から①水分を取る用、②拭く用、③マット用を順番に重ねる)、着替え用の洋服(タオルの間に挟む)、オムツ、沐浴布、ガーゼハンカチ

茅ヶ崎市子ども育成相談課作成 転載禁止

沐浴 2.顔を洗う



- ①お風呂から洗面器でお湯をすくう
 - ②よく泡立てた石けんで顔を洗う。
 - ③こすり過ぎない。石けんが目に入らないように気をつける。
- ※洋服は着せたままでもよい。

沐浴 3.顔を洗う



ガーゼハンカチを濡らして、かたく絞る。



強くこすらないように、石けんを拭き取る。

沐浴 4.顔を洗う



児の首を支えながら持ち上げ、傾ける。ガーゼハンカチを濡らし、ゆるく絞って、おでこの方から絞って流す。

※傾けると、目に直接は入りにくい。



シャワーで流す場合は・・・
児の首に気を付けながら、
上体を上げて傾ける。
シャワーヘッドの向きを
頭から下に向かってかける。

茅ヶ崎市子ども育成相談課作成 転載禁止

沐浴 5.頭を洗う



- ①お洋服を脱がせる。
- ②たっぷりの泡でやさしく洗う。
耳の裏が汚れやすいので忘れずに。



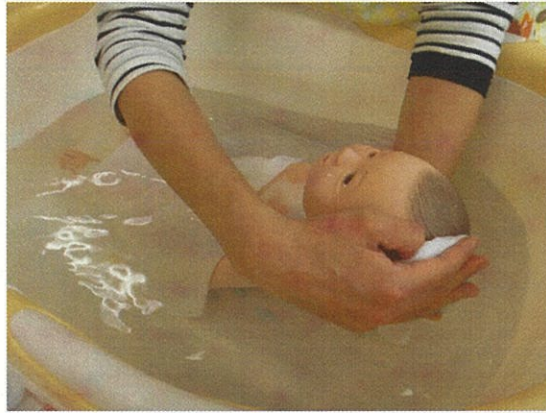
沐浴 6.身体を洗う



- ① 首を洗う。しわになっていて赤くなりやすいため、やさしく忘れずに洗う。
- ② 腕→手を洗う。脇も汚れやすいため、きれいに洗う。
- ③ 胸→お腹→背中を洗う。背中を洗う時は首に気を付ける。
- ④ 足洗う。股のくびれも汚れやすいのできれいに洗う。
- ⑤ 陰部→臀部を洗う。女児は前から後ろに洗う。



沐浴 7.ベビーバスに入れて流す



①頭からやさしく石けんを流す。

②首は石けんが残っていると赤くなるので、きれいに流す。

③冬など寒い時は少し湯船につけてあげる。

※シャワーの時はシャワーで流してから湯船に入れる。

④児をベビーバスからあげる時は、先にとっておいたお湯をかける



沐浴 8.タオルで拭く



児をタオルでくるみ、押し拭きをする。
こすらないように。水分が残っていると赤みの原因にもなるので、丁寧に押し拭きをする。



沐浴 9.保湿をする



- ①オムツをする。
- ②保湿剤で全身を保湿し、洋服を着る。
- ③綿棒で耳と鼻をきれいにする。奥に入れないように注意する。爪を切るのもよい。

